

「友達と一緒に楽しもう（勝ち負けのある運動②）」

【ねらい】

- 自分の気持ちの変化を知り、行動を調整することができる。
 - 友達と一緒に楽しむ経験をする。
 - 勝ち負けのある運動の中で、気持ちをコントロールする経験をする。
- ※児童の実態に即したねらいを設定して、指導を行います。

【学習の流れ】

1. めあてと活動内容を確認する。

2. ポイントを知る。

- どんな言葉が出てきたらみんなが楽しいかな？
 - ・あったか言葉
 - ・スイッチ言葉
 - ・きりかえ言葉
- みんなで運動する時にこんなキャラクターが出てきたことがある？（感情の外在化）
 - ・イライラ大魔神
 - ・いいわけドラゴン
 - ・もうやらない鬼
- 落ち着かなくなった時にはどうしたらよいか考えよう。
 - ・少しの間、その場から離れる
 - ・ほかに集中できることをする
 - など

3. 友達と一緒に楽しむ運動をする。

- ・あっち行ってホイ
- ・パストッジビー
- ・3度当て
- ・さいころコーンリレー
- ・宝集め
- ・カーリング
- ・卓上ホッケー
- ・ドッジボール
- など

※上記の中から、勝ち負けがはっきりわかる活動や勝ち負けが分かりにくい活動を、児童の実態に応じて教員が選択して行います。また、内容を変更して行うこともあります。

5. 振り返りをする。

- ①自分のめあてについて振り返りを行う。
- ②今日学んだことを、クラスでどのように活かせるかを発表する。

担任の先生・保護者の皆様へ

今週の小集団学習では、「友達と一緒に楽しもう（勝ち負けのある運動）」を行いました。在籍学級での体育や休み時間に友達と遊んだときなど、勝ったり負けたりする場面は日常的に多くあります。負けた時の気持ちの変化を受け止められず、相手のせいにして怒ったり投げやりになってしまったりすると、自分の周りも困ることになってしまいます。気持ちの変化を自覚し、適切に解消できる行動を知ることは、今後の学校生活で助けになるはずで、気持ちのコントロール方法については、今後も繰り返し指導を行い、様々な場面で生かせるようにしていきます。